







## 平成26年度 医動物・種類同定検査のまとめ(10～3月)

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

平成26年10月から平成27年3月の種類同定検査件数は、7件でした。内訳は昆虫類2件(コウチュウ目1件、チョウ目1件)、その他の節足動物 3件(クモ綱3件)、その他2件(ハリガネムシ綱、植物種子)でした。主な検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
網戸に虫がついていた		アズキゾウムシ (コウチュウ目)	体の背面は赤褐色で翅に黒白の斑紋がある。成虫は貯蔵中のアズキの表面に産卵する。幼虫は豆の中に食い入って成長する。アズキ、ササゲ、エンドウなどを食害する。
自宅の食卓椅子に幼虫がみられた		ルリタテハ (チョウ目)	九州以北では、5～10月に1～3回羽化し、成虫で越冬する。幼虫はサルトリイバラ、ホトギス、ヤマユリなどユリ科の植物を食する。
コンテナ内にクモが多数いた		イエユレイグモ (クモ綱)	旧家や倉庫など古い建物に多く、天井、荷物の間などに不規則な網を張る。卵のうは、糸でかがり口器につけて運ぶ。全世界、日本に広く分布する。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
工場内の木パレット付近でクモを発見した	 成体、灰褐色、約8mm	マダラヒメグモ (クモ綱)	市街地などの人工建造物内では部屋の隅や下部に不規則網を張って生活している。屋外にも生息し、外壁のくぼみやマンホール、側溝などで確認されている。本来は外来種であるが、分布域を広げつつある。咬まれたとしても、一般的には軽症ですむ。
敷地内の排水溝内にクモがいた	 成体、灰褐色、約7mm	同上	同上
公園の水飲み場に虫がみられた	 黒色、約12cm	ハリガネムシの一種 (ハリガネムシ綱)	線形動物の一種。本綱に属する虫の種類は非常に多い。成虫の体長は約数10cm、体径1mm前後である。幼虫は昆虫の体内で寄生生活をする。成虫になると寄生生物から脱出し、水中で自由生活を送る。人体に寄生することはない。
室内で昆虫のようなものをみかけた	 茶褐色、約1.5mm	植物の種子と推定	昆虫類を含めた動物由来のものではない。

【 微生物検査研究課 医動物担当 】